

地域計画の策定に向けた取組事例

地域計画の実現・発展に向けた集落の自走を促す伴走型支援

兵庫県南あわじ市

認定農業者等数

760 経営体

農地面積

3,710 ha

主な農畜産物

玉葱、レタス等
酪農・畜産

※ わがマチ・わがムラから参照

地域の現状・課題

南あわじ地域は温暖な気候と土壌条件に恵まれていることから、たまねぎやレタスなどの露地野菜の産地となっている。

夏の水稲と秋から春にかけてのたまねぎやレタス、白菜、キャベツなどの露地野菜を組合わせた多毛作栽培が盛んで、1年を通じて農業をすることが可能な地域。

一方で農業従事者は20年前と比較して40%減少するなど担い手不足により耕作放棄田の増加、ため池や水路など地域資源の管理など、10年後を見据えた時に対応できなくなる地域の増加が予想され、担い手の確保のみならず、地域農業の在り方の見直し等が急務となっている。



Craft MAPを使用しています。

取組概要

令和4年11月頃から本格的に地域計画の推進をスタートした。

「まずはやってみる」から地域の方々と共に試行錯誤しながら進めてきた。

本市地域計画マニュアルは令和4年から既に10回以上バージョンアップを続け、集落コアメンバーとの勉強会と称した協議の場で地域計画の概要説明を行い、今後の進め方や区域案を協議。地域計画（案）と現状地図、目標地図が作成できた段階で法に基づく「協議の場」を開催し、区域の決定や計画案についてアドバイス等を行っている。



集落コアメンバーとの協議の場



基盤強化法に基づく協議の場

新規策定と更新に向けた取組

地域計画の勉強会において、「他地域ではどんな風に進めているのか」などの声が多々あったことから地域計画意見交換会を開催し、プロのファシリテーターにも参加いただき、推進体制や地域計画に取組んで良かったことなど様々な意見をとりまとめている。

また、年度末には地域計画に取り組む地域を進捗状況に合わせて研修会を開催し、補助事業など最新情報の提供や地域計画は見直しを繰り返しながら完成形に近づけていくものであることなど更新についての説明を行っている。



色んな地域の同士で意見交換



地域計画研修会（年度末に開催）

今後の取組方針（予定）

○優良事例の横展開

既に13地域で計画が策定されており、様々な事例が集まってきています。令和7年度以降は「地域農業の在り方」や「担い手の確保・育成」など優良な事例を地域の方に発表していただき、市内で横展開を進めていく。

○協議の場について

本市は集落単位で地域計画策定を進めており、計画数は非常に多い。地域計画の更新では書面による協議の場を活用しながら、区域や地域農業の在り方の大幅な変更など状況に応じて対面での協議の場を進めていく。



現状地図（青：拡大、赤：縮小）



目標地図